

タカラ 洗面収納ユニット

(エンドパネル・台輪スパーサー含む)

取扱説明書 (お客様へ)

設置説明書 (設置される方へ)

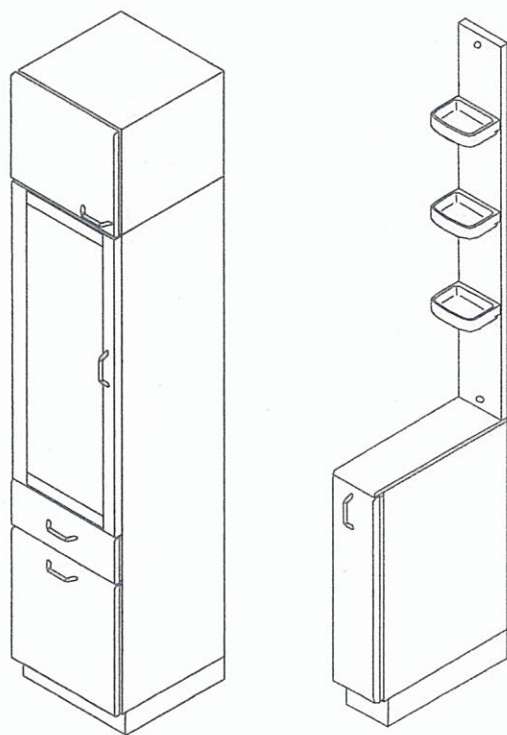
アルファージュ (ST型)

セレンティ・オンディーヌ (SJT型・SJS型)

サニティ (SWT型) エリシオ (†SW型)

お客様へ このたびは、タカラ洗面収納ユニットをお買い求めいただきまして、誠にありがとうございました。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は、いつでもご覧になれるところに大切に保管してください。

設置される方へ 設置後は、この説明書を必ずお客様にお渡しください。お渡しできない時は、わかりやすい位置に紛失しないよう納めておいてください。



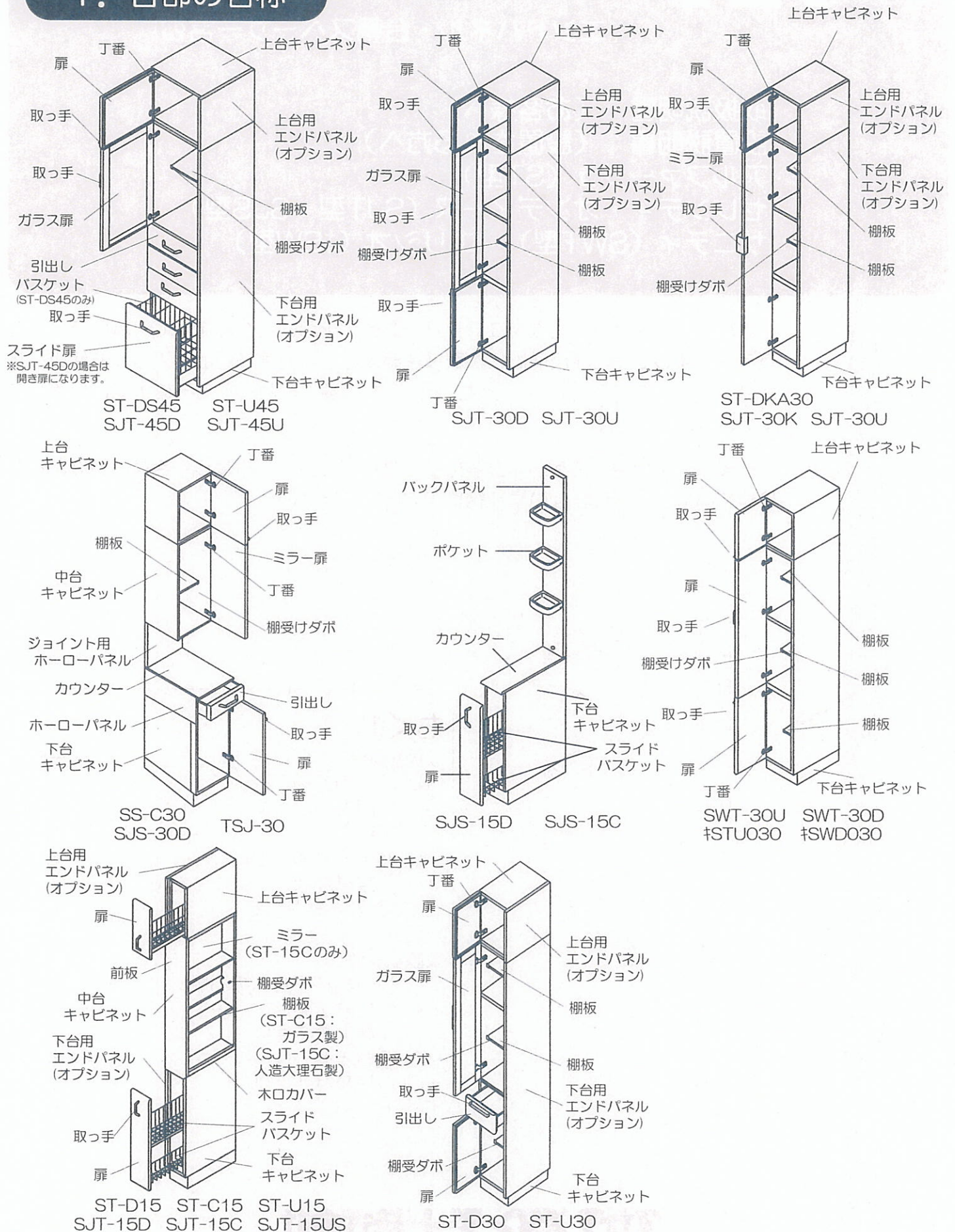
もくじ

取扱説明書	ページ
1. 各部の名称	1
2. 使用上のご注意	2
3. 使用方法	3~5
4. お手入れのしかた	5~6
5. 『故障かな?』と思ったら	6
6. アフターサービス	6

設置説明書	
1. 設置される方へのお願い	7
2. 取付寸法図	7
3. 設置上のご注意	7~8
4. 設置手順	9~14
5. 点検及び仕上げ	15
6. お願い事項	15

取扱説明書 (お客様へ)

1. 各部の名称



2. 使用上のご注意

必ずお守りください。(安全上のご注意)

- ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や、家財の損害に結びつくものをまとめて記載しています。安全に関する重大な内容ですので、必ずお守りください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保管してください。
- 表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で説明しています。

注意

この表示の欄は「傷害を負う危険が想定される場合または物的損害のみ発生する可能性が想定される」内容です。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



このような絵記号は、してはいけない「禁止」の内容です。



このような絵記号は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

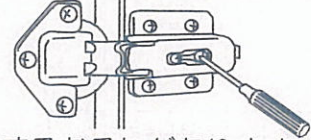
注意

- 扉や取っ手にぶらさがったり、扉を大きく開けすぎないでください。



- 扉や取っ手がはずれて、ケガをするおそれがあります。

- 扉が傾いたり、ガタついている時は、丁番のネジを締め直すか、販売店にご連絡ください。
※丁番の直し方：3ページ(1)をご覧ください。



- 扉が落ちて、ケガをするおそれがあります。

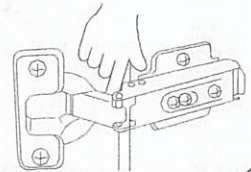


- 棚板の位置を変える場合、棚受けダボは正しい向きできっちり奥まで差し込んでください。
※4ページ(3)をご覧ください。
- 棚板、収納物が落下し、ケガをするおそれがあります。



- ・開閉時に丁番にさわらないでください。

- ・丁番に指をはさんでケガをするおそれがあります。
特にお子さまにはご注意ください。



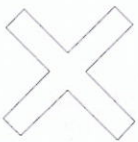
〈耐震ラッチが取付いている場合〉



- 地震の後、最初に扉を開ける時には、収納物が扉にもたれかかっていないか確認してください。
- 収納物が落下してケガをするおそれがあります。

快適にご使用いただくためにお守りください。

- 化粧品等をキャビネットにこぼさないでください。



- シミができることがありますのでこぼした時はすぐにふき取ってください。

- 扉、引出しを開いた状態で強い力をかけないでください。



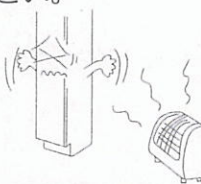
- 丁番、レール等に損傷が発生し、扉の開閉及び引出しの出し入れに支障をきたすおそれがあります。

- キャビネットに湯水をかけないでください。かかった時はすぐにふき取ってください。



- 変形や変質のおそれがあります。

- キャビネットの近くにストーブ等を近づけないでください。



- ソリや変色の原因になります。

- 棚板へ過度に重い物をのせたり、偏って物を収納しないで下さい。
- 棚板が変形するおそれがあります。
(間口10cm当たり2kg以上は避けてください。
例：30cmの棚板1枚につき6kg以下)

- ポケットへ過度に重い物をのせたり、力を加えないでください。
- 本体に損傷を及ぼすおそれがあります。
(ポケットに1kg以上は避けてください。)

3. 使用方法

(1) 丁番の調整方法

※調整には+ドライバーが必要です。

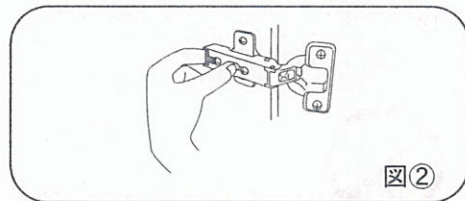
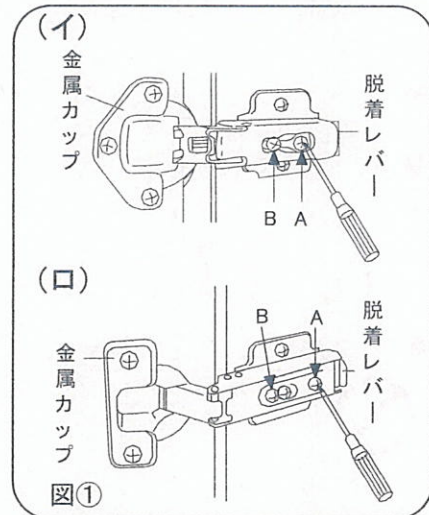
扉がガタついたり、扉に段違いが発生した場合は、下記の要領にしたがって締め直し又は調整を行ってください。

※丁番には(イ)、(ロ)の2タイプがあります。(図①)

- ①扉ガタつきの修正方法
Aのネジをしっかりと締め込んでください。
- ②扉の前後方向の調整方法
Aのネジをゆるめて丁番を移動させ、再度Aのネジを締め込んでください。
- ③扉の左右方向(段違い)の調整方法
Bのネジの締め込み代で調整してください。

●丁番のはずしかた

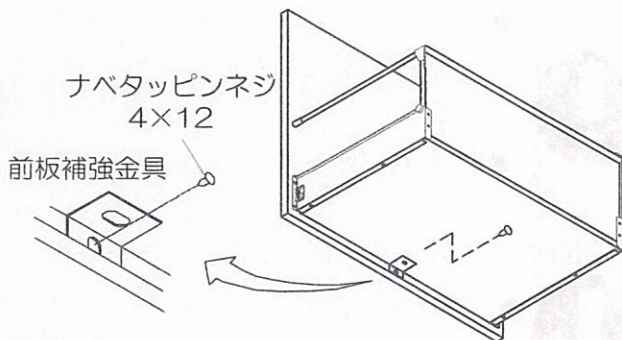
中央の穴を押さえた状態で、脱着レバーを押しあげてください。(図2)



(2) スライド扉の調整方法

- ### ①準備

スライド扉は底板裏面より前板補強金具で扉を固定しています。調整前にネジをゆるめてください。



- ## ②スライド扉の左右方向の調整

Cのネジをゆるめて左右を調整し、再度ネジを締め直してください。

- ### ③スライド扉の上下方向の調整

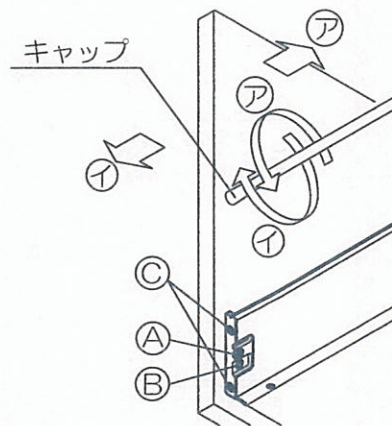
Aのネジをゆるめた後、Bのネジを回して上下を調整し、再度Aのネジを締め直してください。

- #### ④スライド扉の前後方向(角度)の調整

左右のキャップを回して扉の角度調整を行ってください。

- ### ⑤仕上げ

調整後、引出裏面よりゆるめたネジを締め直してください。



(3) 棚板の位置を変える場合

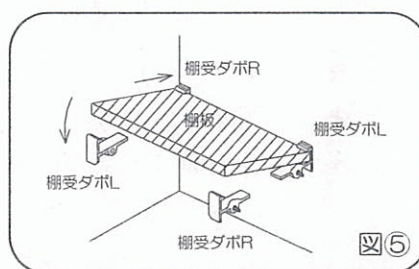
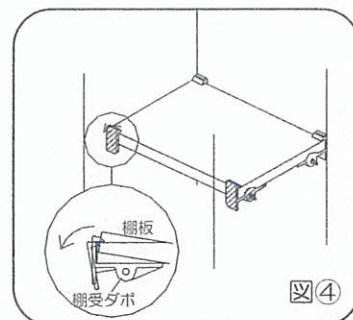
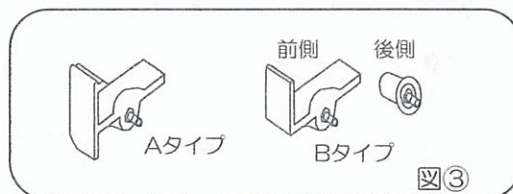
棚受ダボにはA・Bの2タイプがあります。(図③)

①Aタイプの場合

- 棚板のはずしかた
前側のダボの上部に親指をかけ、手前にはじいてください。(図④)
- 棚受ダボの取付けかた
希望の位置にダボをしっかり奥まで差し込んでください。(図⑤)
- 棚板の設置のしかた
奥のダボに棚板を差し込み、次に前のダボの上から棚板を押し込んでください。(図⑤)

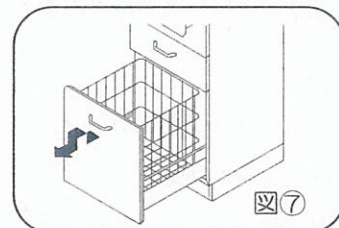
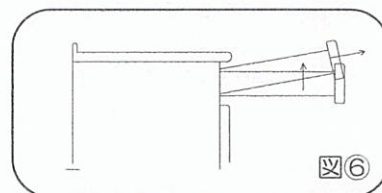
②Bタイプの場合

- 棚受ダボの取付けかた
棚受ダボの前側・後側に注意して、希望の位置にしっかり奥まで差し込んでください。
- 棚板の設置のしかた
棚受ダボに棚板を設置してください。



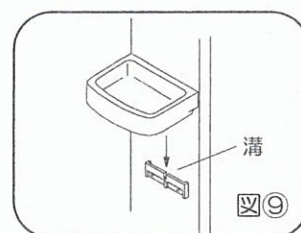
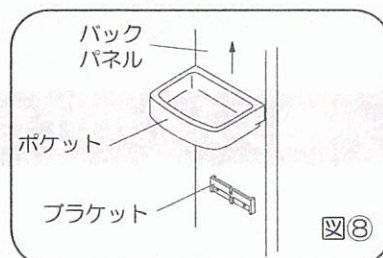
(4) 引出し・スライド扉のはずしかた

- 引出しのはずしかた
引出しをいっぱいに出した後、上へ持ち上げながら引き抜いてください。(図⑥)
- スライド扉のはずしかた
扉をいっぱいに出した状態で、少し上に持ち上げて引いてください。(図⑦)



(5) ポケットのはずしかた及び取付けかた (SJS-15のみ)

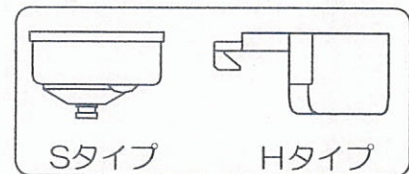
- はずしかた
バックパネルに沿いながら押し上げてください。(図⑧)
- 取付けかた
ブラケットの溝にポケット裏側にあるリブを合わせてから押し下げてください。この際必要以上の力をかけないでください。(図⑨)



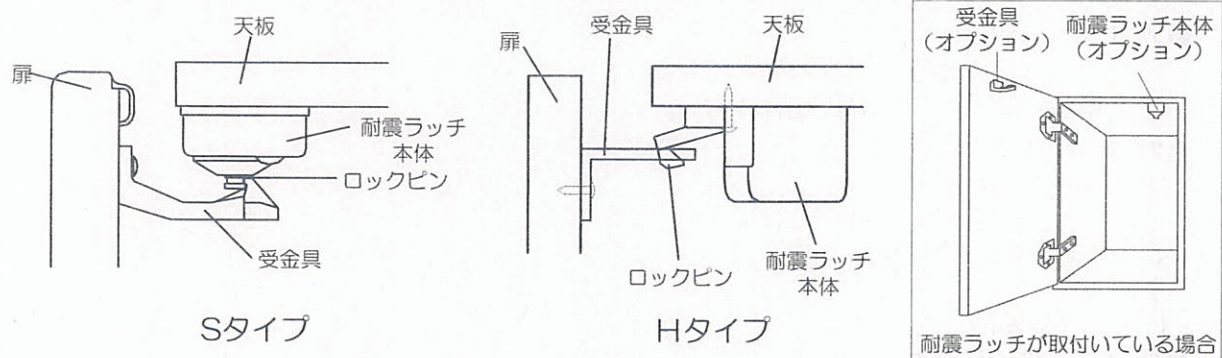
(6) 耐震ラッチが取付いている場合

耐震ラッチには、Sタイプ・Hタイプの2タイプあります。

- 耐震ラッチは、地震等の揺れが発生し扉が開きかけた時に、ロックがかかって扉が全開するのを防ぎます。
(このとき、扉は2～3cm開きます。)



ご注意：耐震ラッチは地質、建物の構造、階数により性能を充分発揮できない場合があります。



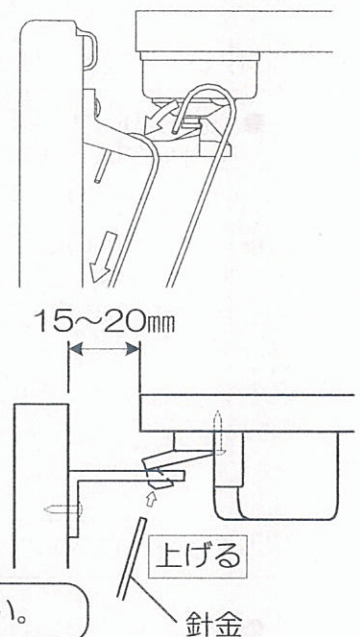
- 通常使用(扉の開閉)においては、ラッチは作動せずロックはかかりません。
- 扉の開閉は、力を入れずやさしくおこなってください。
- 地震等の揺れで扉がロックした場合は、一度扉を閉め直し、揺れがおさまってから開いてください。揺れがおさまるとロックは自動的に解除されます。
ただしキャビネットが傾いた場合はロックが解除されませんので、次の順序でロックを強制解除してください。

Sタイプの場合

- ①扉の隙間より針金を曲げたものなどを差し込み、受け金具にひっかけてください。
- ②一度扉を閉じてください。
- ③針金を下方に引きながら扉を開けてください。

Hタイプの場合

- ①扉の隙間を15～20mmに保持してください。
- ②扉の隙間より針金等細いものを差し込み、ロックピンを押し上げながら扉を開けてください。



ご注意：強制解除後の耐震ラッチは必ず新しいものと交換してください。

4. お手入れの仕方

いつまでも美しく快適にご使用いただくためには日ごろのお手入れが大切です。

なお安全にお手入れしていただくために、ゴム手袋の着用をおすすめします。

ご注意：溶剤、酸性・アルカリ性・塩素系の洗剤、漂白剤は使用しないでください。商品をいためるおそれがあります。



キャビネット、扉・引出、エンドパネル、ミラーのお手入れ

- 水を含ませた布またはスポンジでふいてください。その後、乾いた布でふき取ってください。落ちにくい汚れの場合は、薄めた中性洗剤を含ませた布またはスポンジで汚れを落としてください。その後、水を含ませた布またはスポンジで洗剤をふき取り、最後に乾いた布でふき取ってください。

人造大理石カウンターのお手入れ

スポンジ、布など柔らかいものに薄めた中性洗剤をつけてふいてください。

- 落としにくい汚れの場合

ナイロンたわしを水に浸して円を描くようにまんべんなくみがいてください。それでも落ちにくい場合は台所用クリームクレンザーを併用してみがいてください。

- 表面に傷がついた場合の補修方法

クレンザー、目の細かいサンドペーパー(400番程度)でみがいて補修します。傷が深い場合は目の粗いサンドペーパー(240番程度)で補修し、最後にナイロンたわしで仕上げてください。

5. 故障かな？と思ったら

アフターサービスをお申し付けになる前に、つぎの点をお調べください。

現 象	確 認 事 項	処 置
扉が傾いたり、扉がガタついたりする。	丁番の固定ネジがゆるんだり、丁番が変形したりしていませんか。	ネジがゆるんでいる場合は、締め直してください。それでも直らない場合や丁番が変形している場合は、点検修理を依頼してください。

以上のことをお調べになり、それでも具合の悪いときはお買い求めの販売店またはP.6に記載のフリーダイヤルへお問い合わせください。

6. アフターサービス

タカラ製品のアフターサービスは、お買い求めの販売店へお申し付けください。また、おわかりにならない時は、下記フリーダイヤルへご連絡ください。

 0120-557-910 受付時間 9:00~18:00 (土日祝、夏期・年末年始休業日を除く)

アフターサービスのお申し付けの際は、次のことをお知らせください。

- (1) 製品名 洗面収納ユニット
- (2) 機種名 (キャビネット内側面の検査合格証に表示しています。)
- (3) 故障または異常の内容 (できるだけ詳しく)
- (4) ご住所・ご氏名・電話番号・道順

- 修理料金のしくみ

修理料金は技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する料金です。

設置説明書 (設置される方へ)

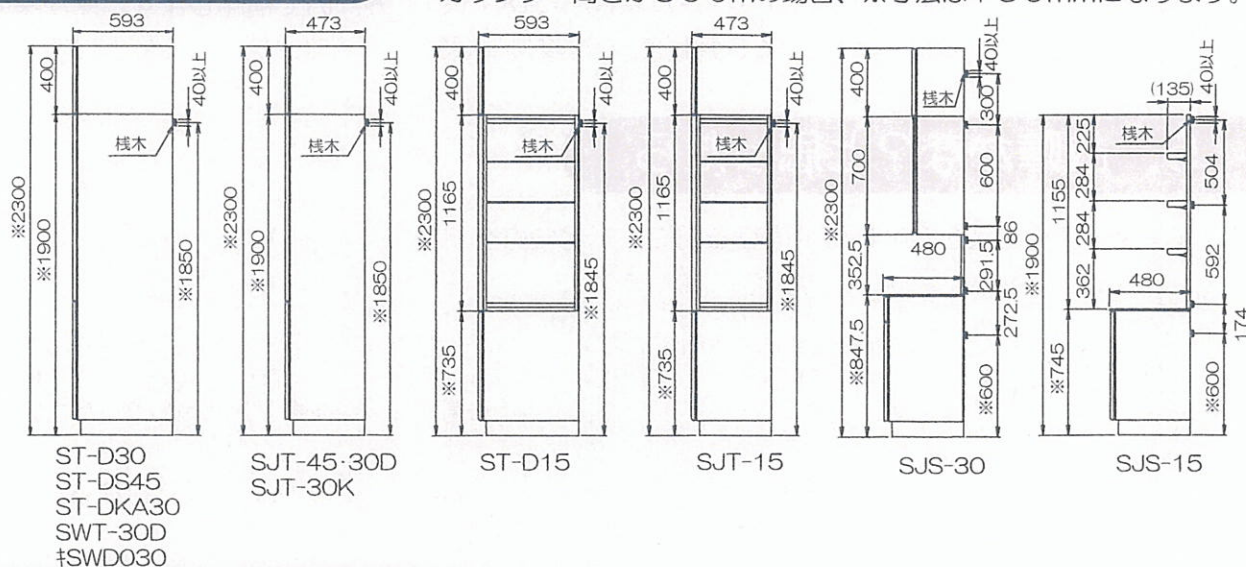
1. 設置される方へのお願い

- 設置は、必ずこの設置説明書にしたがって、正しく行ってください。
- 本商品の設置が終了しましても、他の工事が残っている場合は、万一の場合にそなえ、商品に布などをかぶせ、保護してください。
- 設置完了後、各部の点検を行い、異常のないことを確かめてください。
- 本体に同梱されている取扱説明書は、お客さまにお渡しする大切な書類です。紛失や汚れのないように保管し、設置完了後お客さまにお渡ししてください。

2. 取付寸法図

※図はカウンター高さ75 cmの場合の寸法です。

カウンター高さが80 cmの場合、※寸法は+50 mmになります。



3. 設置上のご注意

取付け前のご確認

- 取付用栈木は壁面の指定位置にあらかじめ取付けておいてください。栈木を壁面の下地に取付けられない場合は、壁の前面に栈木又は12mm以上の板をはってください。(取付寸法図参照)

必ずお守りください (安全上のご注意)

- 設置前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく設置してください。
- 表示内容を見逃して誤った設置をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で説明しています。



警告

この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は「傷害を負う危険が想定される場合または物的損害のみ発生する可能性が想定される」内容です。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



このような絵記号は、してはいいけない「禁止」の内容です。



このような絵記号は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

警告



●キャビネットの壁への固定は、壁の構造を確認して設置手順にしたがって正しく行ってください。

●固定方法を誤ると使用中にキャビネットが落下して、ケガをするおそれがあります。

注意

●設置完了後は、肩の傾き、ガタつき、丁番のゆるみなどがないことを必ず確認してください。



●扉の取付けに異常があると、使用中に扉が落下して、ケガをするおそれがあります。

●棚板を設置する時は、棚受をすきまのないよう根元まで確実に差し込んでください。
※4ページ(3)をご覧ください。



●棚板、収納物が落下し、使用者がケガをする場合があります。

快適にご使用いただくためにお守りください。

●仕上げ作業に使われる溶剤・洗剤・その他の薬品類は、それぞれの指示にしたがって、正しくお使いください。

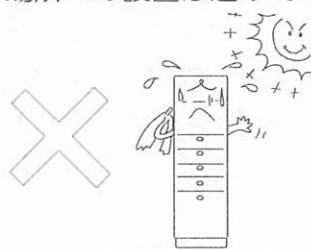
●使い方を誤ると、人体に悪影響を及ぼしたり、使用部材の損傷や劣化の原因になります。

●浴室等湿気の多い場所への設置は避けてください。



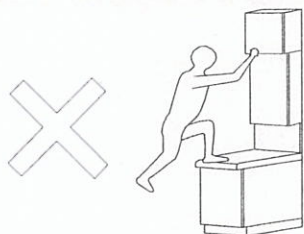
●製品が早く傷むおそれがあります。

●直射日光や殺菌等が当たる場所、高温になる場所への設置は避けてください。



●プラスチック部品や塗装部分に変色するおそれがあります。

●設置する時にカウンターに乗らないでください。



●カウンターに傷がつくおそれがあります。

●梱包材の中には付属部品が入っていますので、入れたまま捨ててしまわないようご注意ください。



●設置途中で製品を仮置きする場合は、ダンボールを敷く等の養生を施し、キズがつかないように十分注意してください。

●設置中、キャビネットや扉にドライバー、金づち等の固いものを当てたり落としたりしないように十分注意してください。

4. 設置手順

設置部品の確認

〈トールユニット本体〉

	ST-DS45	SJT-45D SJT-30D SJT-30K	ST-D30 ST-DKA30 SWT-30D †SWD030	SJS-30D SJS-15D	ST-C15	SJT-15C	SS-C30	SJS-15C
トラスタッピンネジ 4×25							2	6
トラスネジ 4.5×60	2		2				4	2
トラスネジ 3.5×27	4		4		2	2		
皿タッピンネジ 3.5×25							2	
皿タッピンネジ 3.5×35					6	6		
皿タッピンネジ 4×60								2
丸木ネジ 3.8×38					2	2		
ナベタッピンネジ 4×12	1							
フック金物							2	
防水テープ							1	
ネジキャップ座金					6	6		2
ネジキャップ					6	6		2
ネジ穴キャップ					4	4		
パネル押え金具							1	
ホーローパネル							1	
取扱・設置説明書	1		1		1	1		
棚受ダボ L/R					3/3	3/3		
棚受ダボ (丸型)					6	6		
木口カバー					1	1		
ガラス棚					3			
人造大理石棚						3		
バックアップテープ					1	1		
前板補強金具	1							

〈台輪〉

・品名および対象機種

	アルファージュ		セレンティ・オンディーヌ		サニティ・エリシオ	サニティ・エリシオ
	高さ80cm用	高さ75cm用	高さ80cm用	高さ75cm用	高さ75cm用	高さ80cm用
45間口用	S-DB45D-80	S-DB45D-75	S-DB45-80	S-DB45-75		
30間口用	S-DB30D-80	S-DB30D-75	S-DB30-80	S-DB30-75	S-DB30D-75(M)	†SDB30D-80(M)
15間口用	S-DB15D-80	S-DB15D-75	S-DB15-80	S-DB15-75		

・部品

部材	数量
前台輪	1
横台輪L/R	各1
後台輪	1
台輪プレート (高さ80cmのみ)	1
台輪隅金具	4
トラスタッピンネジ3.5×14	20

〈エンドパネル〉 ※エンドパネル設置の場合のみ

品名	部品名	数量
SEP-TD(下台用) SEP-TU(上台用)	皿タッピンネジ3.5×25	3
	トラスタッピンネジ4×25	8
	台輪プレート(SEP-TDのみ)	1

(1) 台輪の組立

台輪の付属部品[台輪隅金具][ネジ]を使用して、台輪を組立ててください。(図1)

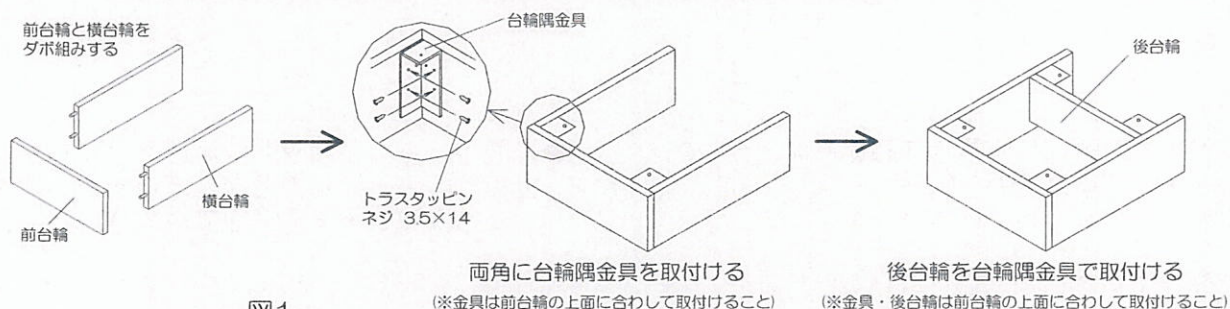


図1

(2) 本体キャビネットへの取付

ツールユニットに付属のトラスタッピンネジ (3.5×14) 4本で本体キャビネットに組付けてください。(図2)

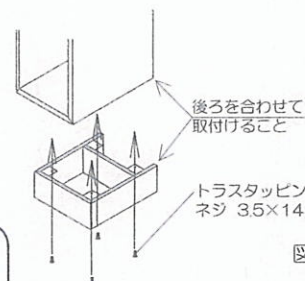


図2

注意：台輪には位置決めのダボがありませんので正確に位置決めをして取付けてください。

(3) キャビネットの加工

※下台キャビネットのみのご使用の場合は1) 3)の作業は不要です。

1) 下台キャビネットの天板の所定位置に上台キャビネット連絡用の下穴 (φ4穴) を加工してください。(図3)

2) 下台キャビネットの後板の所定位置に壁面取付け用の下穴 (φ5穴) を加工してください。(図4)

3) 下台キャビネットに上台キャビネットをのせ、上下キャビネットの前面側面を合わせ下台キャビネットの天板に加工した下穴からネジ(トラスネジ3.5×27)で連結してください。(図5)

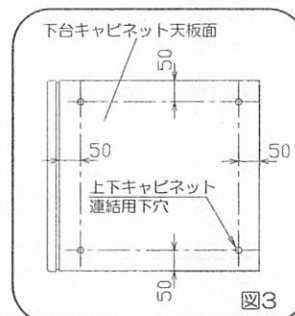


図3

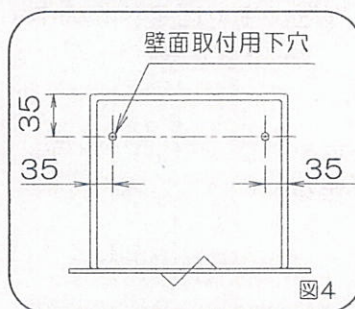


図4

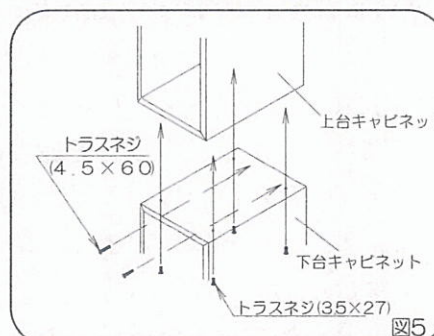


図5

(4) エンドパネルの設置 ※エンドパネル設置の場合のみ

1) EP固定枠をパネル本体前後に下合わせて挿入してください。(図6)

注) 勤合が甘くてガタつく場合はシリコンまたはテープで固定してください。

2) キャビネットに固定用の下穴 (φ4.5穴) を加工してください。(下図参照)

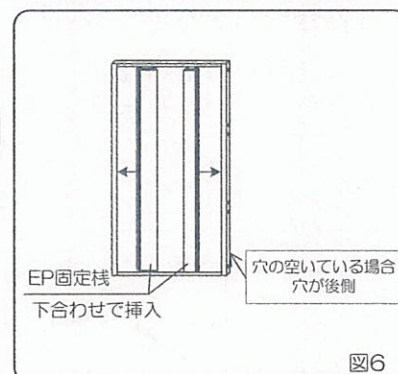
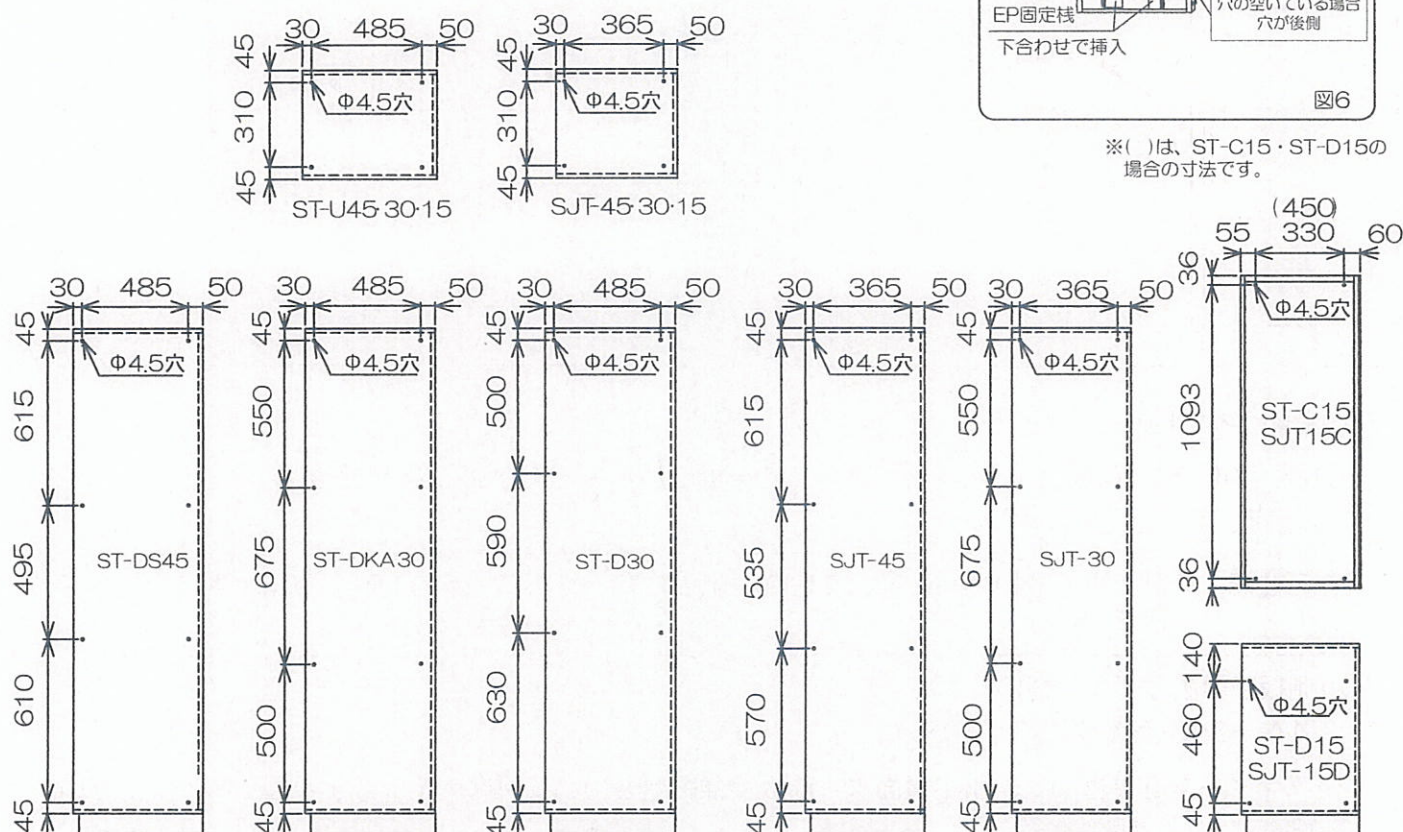
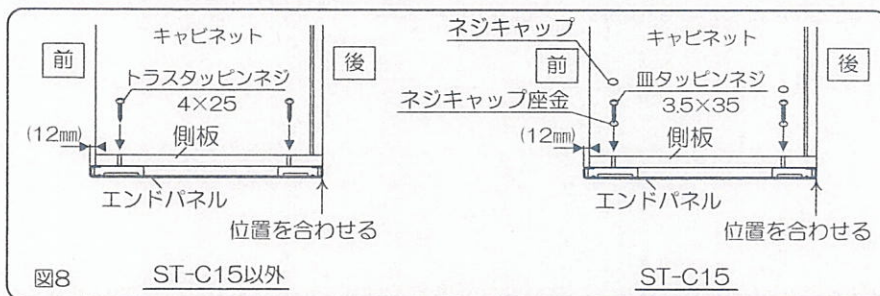
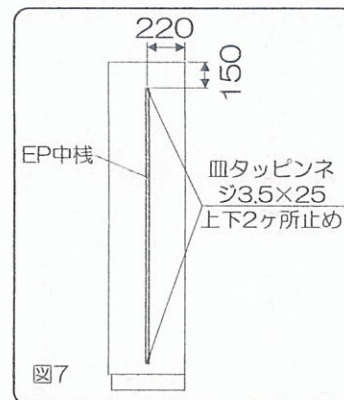


図6

※()は、ST-C15・ST-D15の場合の寸法です。



- 3) 下パネルの凹凸矯正のため、EP中棧を取付けてください。(図7)
- 4) キャビネット後部に位置を合わせて、キャビネットの内側から所定のネジで固定してください。ST-C15の場合は、ネジキャップ座金を通してネジを打ち、ネジキャップをはめ込んでください。(エンドパネルの出代は12mm)(図8)



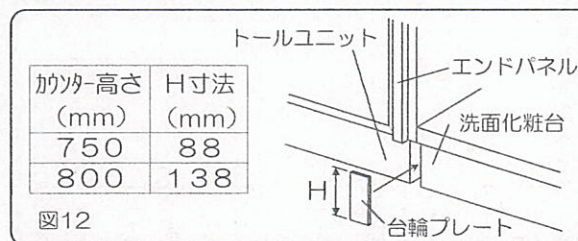
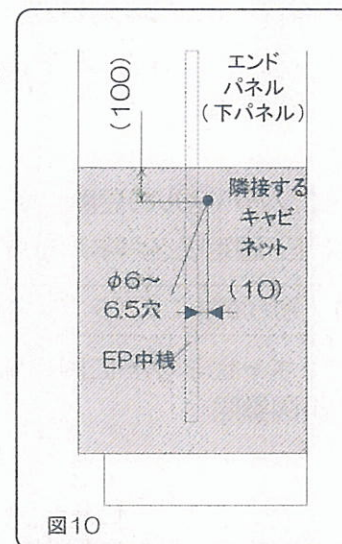
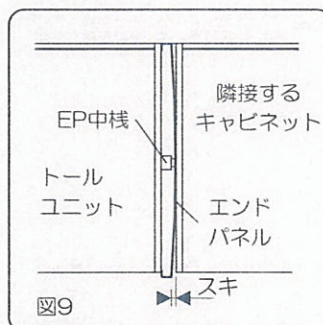
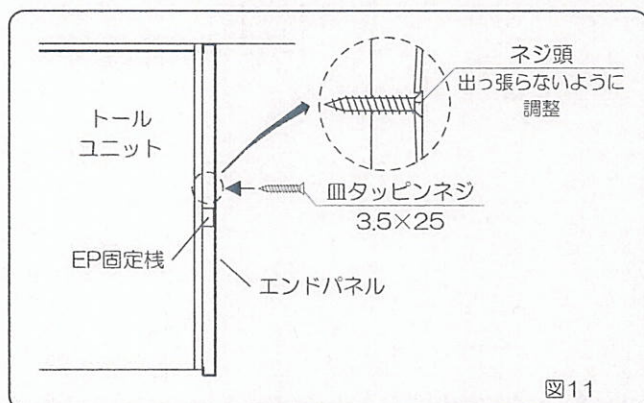
ツールユニット用エンドパネルに隣接してキャビネットを設置する場合

エンドパネルの凹凸矯正用のEP中棧を、キャビネットの中央に取り付けています。隣接して設置するキャビネットとの間にスキが発生して、設置できない場合は、以下の方法でパネルの反りを矯正してください。(図9)

- ①隣接するキャビネットで隠れる箇所にφ6~6.5の穴を加工してください。(図10)
- ②加工した穴にシリコンで防錆処理を施してください。
- ③加工した穴からネジ(皿タッピンネジ3.5×25)を打って、パネルの反りを矯正してください。

(ネジ頭が出っ張らないように調整してください。)(図11)

- ④台輪部の隙間を塞いでください。台輪プレートはH寸法(下表)にカットし、台輪側面に貼付けてください。(図12)



(5) キャビネットの設置

- 1) 所定の位置に設置し、下台キャビネットの後板に加工した下穴からネジ(トラスネジ4.5×60)で固定してください。(図4)

ご注意：床が水平でない場合には、すき間に詰め物をしてガタつきのないように水平に設置してください。

- 2) 棚板を設置してください。

4ページ(3)を参照してください。

- 3) スライド扉を調整の上、引出裏面より前板補強金具を用いて付属のネジにより固定してください。(3ページ(2)参照)

SJS-30の場合

(1) 台輪の取付

9ページ(1)(2)を参照してください。

(2) キャビネットの加工

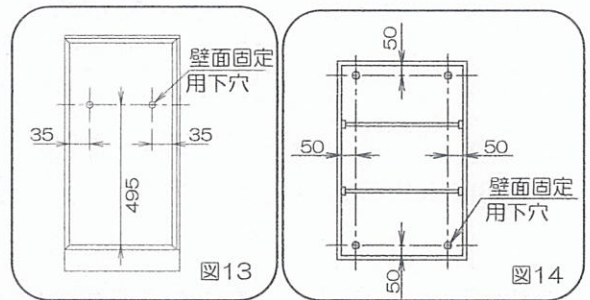
※下台キャビネットのみでご使用の場合は次の

2) 3) の作業は不要です。

1) 下台キャビネットの後板の所定位置に壁面取付用の下穴(φ5穴)を加工してください。(図13)

2) 中台キャビネットの後板の所定位置に壁面取付用の下穴(φ5穴)を加工してください。(図14)

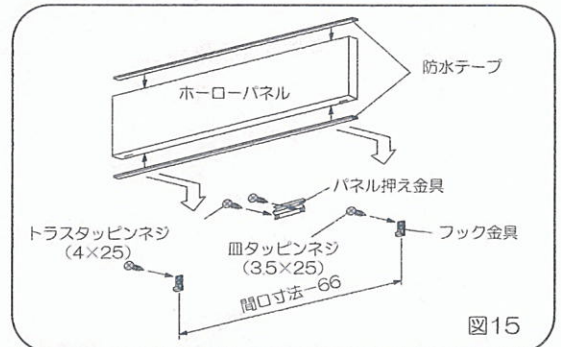
3) 中台キャビネットに付属の防水テープをジョイント用ホーローパネルの間口寸法に合わせて切斷し、パネルの上下の面に貼ってください。(図15)



(3)キャビネットの設置

※下台キャビネットのみでご使用の場合は次の3) 4) 5) の作業は不要です。

1) 下台キャビネットを所定の位置に設置してください。



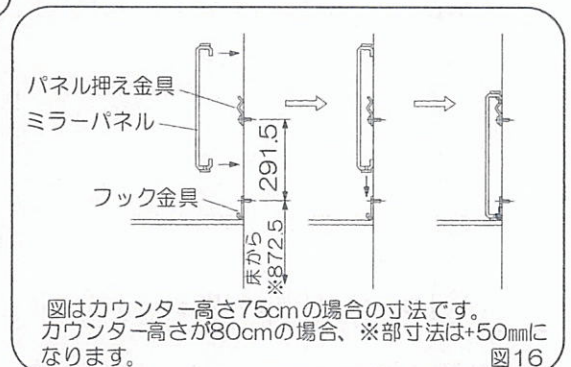
ご注意：床が水平でない場合には、すき間に詰め物をして
ガタつきのないように設置してください。

2) 下台キャビネットの後板に加工した下穴よりネジ(トラ
スネジ4.5×60)で壁面に固定してください。

3)中台キャビネットに付属のフック金具・パネル押え金具を所定の位置に取付けてください。(図15,16)

4) ジョイント用ホーローパネルをフック金具・パネル押え金具に差し込んでください。(図15.16)

5) ジョイント用ホーローパネルの上に中台キャビネットを置き、ネジ(トラスネジ4.5×60)で壁面に固定してください。



ご注意：下地の木質棧にネジバカにならないようしっかり固定されていることを確認してください。

SJS-15の場合

(1) 台輪の取付

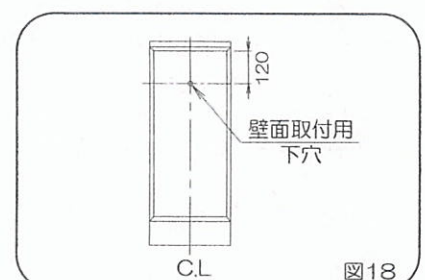
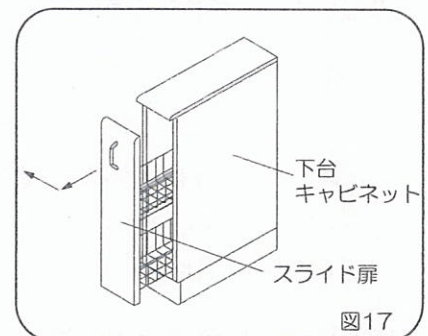
9ページ(1)(2)にしたがい、台輪を取付けてください。

(2)キャビネットの加工

1) 下台キャビネットのスライド扉を取りはずしてください。(図17)

2) 下台キャビネットの後板の所定位置に壁面取付け用の下穴(φ5穴)を加工してください。(図18)

3) 下台キャビネットを所定の位置に設置してください。



ご注意：床が水平でない場合には、すき間に詰め物をして
ガタつきのないように設置してください。

(3) キャビネットの設置

- 1) 下台キャビネットの後板に加工した下穴よりネジ（トラスネジ4.5×60）で固定してください。
- 2) 下台キャビネットにバックパネルをのせ、バックパネル上下各1箇所にある下穴よりネジ（皿タッピンネジ4×60）でネジキャップ座金を通して固定してください。（図19）
- 3) 上下それぞれ固定後ネジキャップをはめてください。
- 4) ポケット取付け用のブラケットをバックパネル中間部の穴に突起部を合わせネジ（トラスネジ4.5×60）で固定してください。（図19）
- 5) 残りのバックパネルの穴にブラケットの突起部を合わせネジ（トラスタッピンネジ4×25）でそれぞれバックパネルへ固定してください。（図20）
- 6) ポケット（3ヶ）の裏側にあるリブをブラケットの溝に合わせて押し下げてください。この際必要以上の力をかけないでください。（図21）

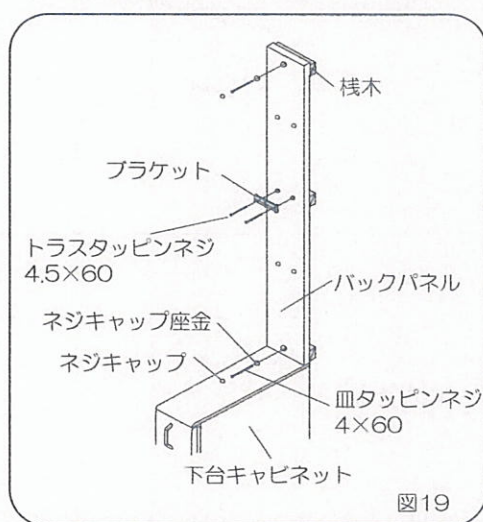


図19

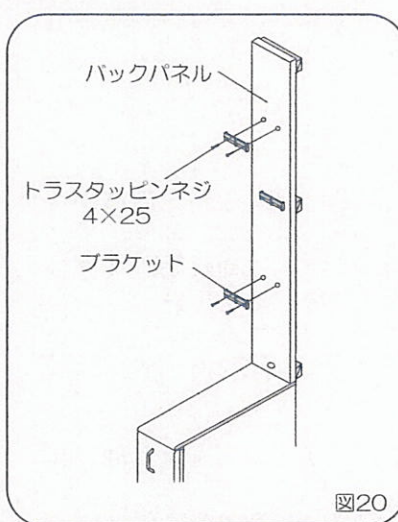


図20

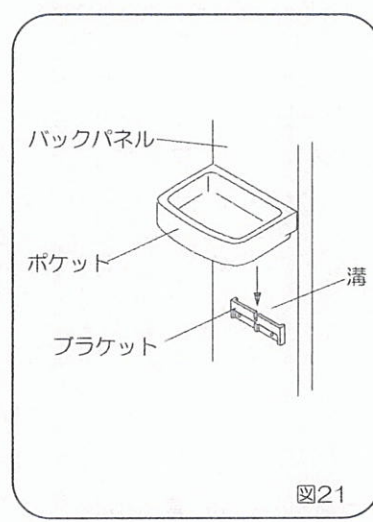


図21

ST-D15・SJT-15の場合

(1) 台輪の取付

9ページ(1)(2)を参考に行ってください。

(2) キャビネットの加工

※下台キャビネットと中台キャビネットのみでご使用の場合は
3) 5) 6) の作業は不要です。

1) 下台キャビネットのスライドバスケットを扉ごと取りはずしてください。（図22）

2) 下台キャビネットの天板の所定位置に中台キャビネット連結用の下穴(φ4穴)を加工してください。（図23）

3) 中台キャビネットの天板の所定位置に上台キャビネット連結用の下穴(φ4穴)を加工してください。（図23）

※中台キャビネットは洗面化粧台の左右どちらか側に据え付けるかで天地が入れかわりますので、注意してください。

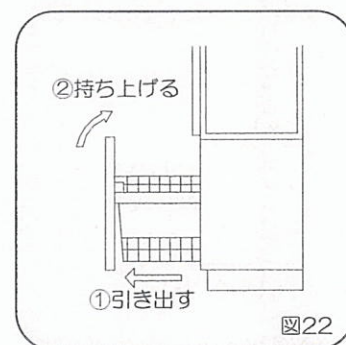


図22

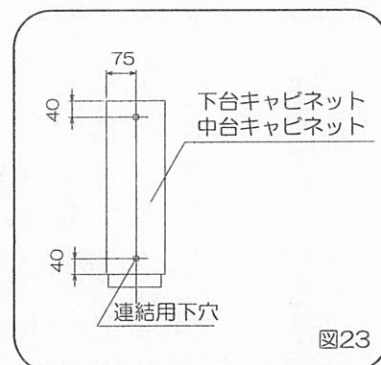


図23

4) 付属のバックアップテープを中間棚の背面パネル寄りの位置に取付けてください。(図24)

5) 下台キャビネットに中台キャビネットを乗せ、両キャビネットの前面側面を合わせ下台キャビネットの天板に加工した下穴からネジ(トラスネジ3.5×27)で連結してください。

(図25)

6) 中台キャビネットに上台キャビネットをのせ、両キャビネットの前面側面を合わせ中台の天板に加工した下穴からネジ(皿タッピンネジ3.5×35)にネジキャップ座金を通して連結してください。(図25)

7) ネジキャップ座金にネジキャップをはめ込んでください。

(図25)

(3) エンドパネルの設置 ※エンドパネル設置の場合のみ10ページ(4)をご覧ください。

(4) キャビネットの設置

1) 所定の位置にキャビネットを設置し、中台キャビネットの後板上方の壁面取付け用下穴よりネジ(丸木ネジ3.8×38)2本で桟木に固定してください。(図25)

2) 中台キャビネットの後板の壁面取付け用下穴にネジ穴キャップをはめ込んでください。(図25)

3) 木口カバー裏面にシリコンを塗布し、両面テープで中台キャビネットの木口に貼付けてください。はみ出したシリコンはきれいにふき取ってください。(図26)

4) 棚板を設置してください。(4ページ(3) 参照)

5) 下台キャビネットの扉を元通りにセットしてください。

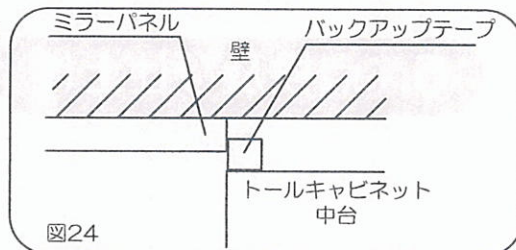


図24

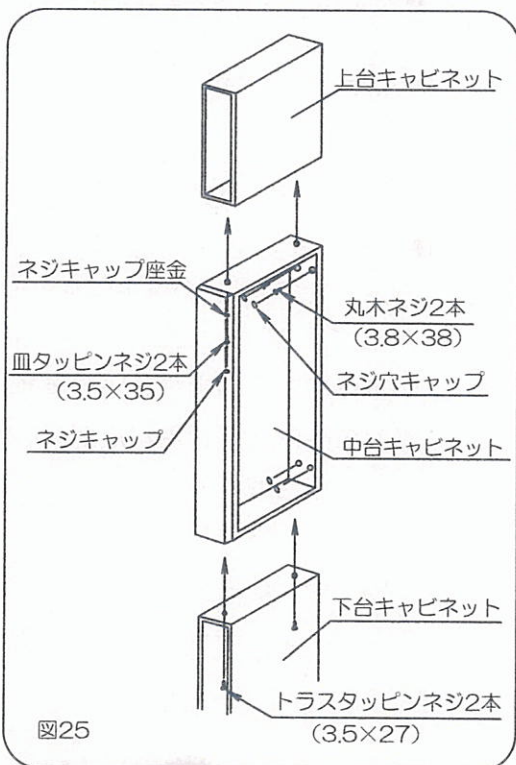


図25

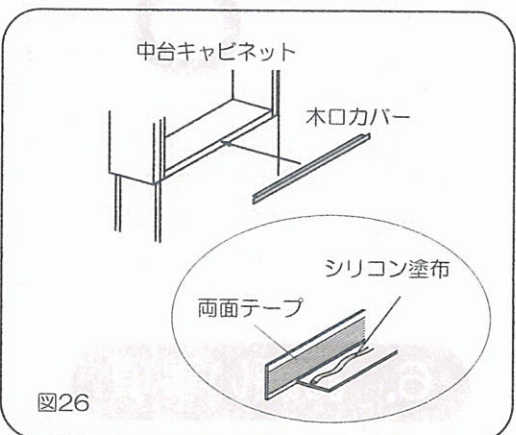


図26

スライドバスケットの調整のしかた

●Aのネジ4本(左右)を緩めることにより扉が上下・左右方向に動くようになります。スライドバスケットをはずして作業してください。

調整後、ネジを締め直して、スライドバスケットをもとにもどしてください。(図27)

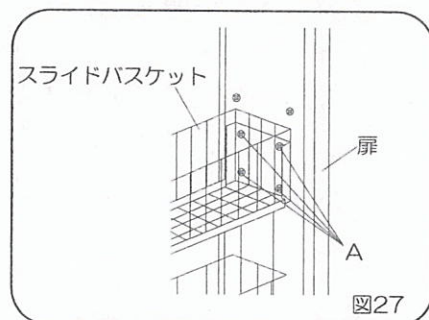


図27

5. 点検及び仕上げ

◎スキ間の防水処理

SJS-15D、SJS-30Dの場合

- キャビネットのカウンターとパネル又は壁面及び洗面ボウルとのスキ間を、シリコンでコーキングしてください。(図28)

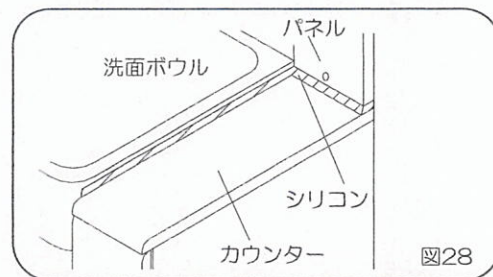


図28

SJT-15C、ST-D15の場合

- キャビネットとカウンターとのスキ間、ミラーパネルとキャビネットのスキ間を、シリコンでコーキングしてください。(図29)

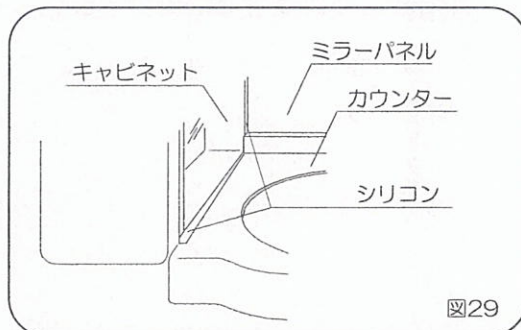


図29

◎本体にガタつきがないか確認してください。

◎設置時に商品が汚れた場合は、水を含ませた布又はスポンジでふいてください。その後、乾いた布でふき取ってください。落ちにくい汚れの場合は、薄めた中性洗剤を含ませた布またはスポンジで汚れを落としてください。その後、水を含ませた布またはスポンジで洗剤をふき取り、最後に乾いた布でふき取ってください。

ご注意：溶剤、酸性・アルカリ性・塩素系の洗剤、漂白剤は使用しないでください。商品をいためるおそれがあります。



◎扉・スライド扉に傾きなどが生じた場合は、3ページ(1)(2)を参照して調整してください。

6. お願い事項

◎商品の養生

すべての設置が完了しましたら、商品の保護養生をしてください。

◎梱包材その他工事部材の処理

梱包資材等の不要部材は、法令にしたがって適正な処理をお願いします。

タカラスタンダード株式会社

本社 〒536-8536 大阪市城東区鳴野東1丁目2番1号

TEL 06-6962-1531

15

153559

OG-1